

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	01	02	01	景観計画推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	09	景観まちづくり推進事業

実施計画整理番号	
401020101	
総合戦略 整理番号	32303

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	茂原市の景観が、憩い、安らぎ、趣きがあり、ふるさと景観として愛着が持てるようにめざす。	・景観資源52箇所の存在を市民に広めるなど、身近な資源に対する関心を高めてもらえるよう、案内看板の設置等を積極的に行う。 ・景観資源に選ばれた公共施設(富士見緑道)が、市民等に喜ばれ、愛されるよう、目に見えるかたちで整備を行う。
	令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
・景観資源案内看板を2基設置 ・「茂原市わが街ガイド」の周知	・都市計画マスタープラン推進市民会議と協働による景観資源の周知 ・令和2年度に実施予定の第2回景観資源バスツアーの準備	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	417	417	400	707	710	495	324	324	298	330	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	417	417	400	707	710	495	324	324	298	330	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	景観資源の広報活動	324	324	298	概ね達成できた。引き続き広報活動していく。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		324	324	298	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・市内の景観資源の周知のため、案内看板を2カ所に設置した。(八幡湖、富士見公園脇の並木道) ・都市計画マスタープラン推進市民会議において、第2回景観資源バスツアー(令和2年11月開催予定)の行先や委員の役割等について協議を行い、市民との協働による景観推進に努めた。

DO  
(実施)

# 令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	01	02	01	景観計画推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	09	景観まちづくり推進事業

整理番号
401020101

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況																																						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「茂原市わが街ガイド」による景観資源の情報発信に努めた</li> <li>・景観資源案内看板を2カ所設置</li> <li>・市民会議と協働で第2回景観資源バスツアーの企画を行った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「茂原市わが街ガイド」の景観資源の閲覧回数は、160回/年</li> <li>・景観資源案内看板を2カ所設置(全52カ所のうち設置済み計9カ所)</li> </ul>																																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">妥当性の評価とその理由</th> <th style="width: 33%;">有効性の評価とその理由</th> <th style="width: 33%;">効率性の評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <b>A:妥当である</b>                      茂原の美しい景観の周知に努めた。                 </td> <td> <b>A:有効である</b>                      景観資源に関する情報発信により、景観資源に対する愛着心の向上の一助となる。                 </td> <td> <b>B:やや効率的である</b>                      景観資源案内看板設置工事費として、約16万円を要する。                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「参加」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「協働」の状況とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <b>A:実現している</b>                      景観資源案内看板を順次設置。「茂原市わが街ガイド」にて、景観資源の情報を発信している。                 </td> <td> <b>A:実現している</b>                      茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議において委員の意見や提言を汲んでいる。                 </td> <td> <b>A:実現している</b>                      茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議と協働で景観資源バスツアーを企画し、景観資源の周知に取り組んでいる。                 </td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <b>所管による評価とその理由、課題・問題点</b> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <b>A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</b>                      市内52カ所の景観資源を周知するため、景観資源案内看板を順次設置しており、2カ所設置したことで計9カ所設置となった。また、都市計画マスタープラン推進市民会議と協働で景観資源を巡るバスツアー(令和2年11月実施予定)に向けて、行き先や委員の役割等の協議を行った。                 </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <b>企画政策課での評価とその理由</b> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <b>B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)</b>                      本事業は、計画的な景観資源案内看板設置等により市民への周知に一定の成果があったものと認められる。より一層、市民への効果的な周知を図るとともに、茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議と連携を図り、ふるさと茂原への愛着の醸成に努めていただきたい。                 </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <b>政策調整会議での評価とその理由</b> </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="height: 50px;"></td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <b>庁議における方針</b> </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="height: 50px;"></td> </tr> </tbody> </table>		妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由	<b>A:妥当である</b> 茂原の美しい景観の周知に努めた。	<b>A:有効である</b> 景観資源に関する情報発信により、景観資源に対する愛着心の向上の一助となる。	<b>B:やや効率的である</b> 景観資源案内看板設置工事費として、約16万円を要する。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「参加」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「協働」の状況とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <b>A:実現している</b>                      景観資源案内看板を順次設置。「茂原市わが街ガイド」にて、景観資源の情報を発信している。                 </td> <td> <b>A:実現している</b>                      茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議において委員の意見や提言を汲んでいる。                 </td> <td> <b>A:実現している</b>                      茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議と協働で景観資源バスツアーを企画し、景観資源の周知に取り組んでいる。                 </td> </tr> </tbody> </table>		「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由	<b>A:実現している</b> 景観資源案内看板を順次設置。「茂原市わが街ガイド」にて、景観資源の情報を発信している。	<b>A:実現している</b> 茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議において委員の意見や提言を汲んでいる。	<b>A:実現している</b> 茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議と協働で景観資源バスツアーを企画し、景観資源の周知に取り組んでいる。	<b>所管による評価とその理由、課題・問題点</b>			<b>A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</b> 市内52カ所の景観資源を周知するため、景観資源案内看板を順次設置しており、2カ所設置したことで計9カ所設置となった。また、都市計画マスタープラン推進市民会議と協働で景観資源を巡るバスツアー(令和2年11月実施予定)に向けて、行き先や委員の役割等の協議を行った。			<b>企画政策課での評価とその理由</b>			<b>B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)</b> 本事業は、計画的な景観資源案内看板設置等により市民への周知に一定の成果があったものと認められる。より一層、市民への効果的な周知を図るとともに、茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議と連携を図り、ふるさと茂原への愛着の醸成に努めていただきたい。			<b>政策調整会議での評価とその理由</b>						<b>庁議における方針</b>					
妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由																																					
<b>A:妥当である</b> 茂原の美しい景観の周知に努めた。	<b>A:有効である</b> 景観資源に関する情報発信により、景観資源に対する愛着心の向上の一助となる。	<b>B:やや効率的である</b> 景観資源案内看板設置工事費として、約16万円を要する。																																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「参加」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「協働」の状況とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <b>A:実現している</b>                      景観資源案内看板を順次設置。「茂原市わが街ガイド」にて、景観資源の情報を発信している。                 </td> <td> <b>A:実現している</b>                      茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議において委員の意見や提言を汲んでいる。                 </td> <td> <b>A:実現している</b>                      茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議と協働で景観資源バスツアーを企画し、景観資源の周知に取り組んでいる。                 </td> </tr> </tbody> </table>		「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由	<b>A:実現している</b> 景観資源案内看板を順次設置。「茂原市わが街ガイド」にて、景観資源の情報を発信している。	<b>A:実現している</b> 茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議において委員の意見や提言を汲んでいる。	<b>A:実現している</b> 茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議と協働で景観資源バスツアーを企画し、景観資源の周知に取り組んでいる。																																
「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由																																					
<b>A:実現している</b> 景観資源案内看板を順次設置。「茂原市わが街ガイド」にて、景観資源の情報を発信している。	<b>A:実現している</b> 茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議において委員の意見や提言を汲んでいる。	<b>A:実現している</b> 茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議と協働で景観資源バスツアーを企画し、景観資源の周知に取り組んでいる。																																					
<b>所管による評価とその理由、課題・問題点</b>																																							
<b>A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</b> 市内52カ所の景観資源を周知するため、景観資源案内看板を順次設置しており、2カ所設置したことで計9カ所設置となった。また、都市計画マスタープラン推進市民会議と協働で景観資源を巡るバスツアー(令和2年11月実施予定)に向けて、行き先や委員の役割等の協議を行った。																																							
<b>企画政策課での評価とその理由</b>																																							
<b>B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)</b> 本事業は、計画的な景観資源案内看板設置等により市民への周知に一定の成果があったものと認められる。より一層、市民への効果的な周知を図るとともに、茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議と連携を図り、ふるさと茂原への愛着の醸成に努めていただきたい。																																							
<b>政策調整会議での評価とその理由</b>																																							
<b>庁議における方針</b>																																							

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観資源案内看板の設置件数</li> <li>・「茂原市わが街ガイド」を活用した景観資源の情報発信</li> <li>・景観資源案内看板の周知回数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「茂原市わが街ガイド」の景観資源の閲覧回数</li> </ul>				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">令和2年度における具体的な目標</th> <th style="width: 50%;">令和2年度における事務事業スケジュール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観資源案内看板を1カ所設置</li> <li>・「茂原市わが街ガイド」の周知</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画マスタープラン推進市民会議と協働による景観資源の周知</li> <li>・第2回景観資源バスツアーの開催</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度における具体的な目標	令和2年度における事務事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観資源案内看板を1カ所設置</li> <li>・「茂原市わが街ガイド」の周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画マスタープラン推進市民会議と協働による景観資源の周知</li> <li>・第2回景観資源バスツアーの開催</li> </ul>
令和2年度における具体的な目標	令和2年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観資源案内看板を1カ所設置</li> <li>・「茂原市わが街ガイド」の周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画マスタープラン推進市民会議と協働による景観資源の周知</li> <li>・第2回景観資源バスツアーの開催</li> </ul>				

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	01	03	01	地籍調査事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	12	地籍調査事業

実施計画整理番号	
401030101	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	行政区域面積から土地区画整理事業実施区域を除いた約90km <sup>2</sup> の約18万筆の土地について、地籍簿・地籍図を作成する。	一筆ごとの土地について、所有者・地番・地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を市内10工区に分け、計画的に実施する。
	令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
	一般社団法人長生郡市地籍調査協会と茂原市における地籍調査実施についての計画方針を決める。	地籍調査事業実施計画策定に向けての予算を要望。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	0	0	0	15	15	15	0	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	15	15	15	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	事業計画・事業準備	15	15	15	千葉県国土調査推進協議会負担金は、地籍調査を実施している市町村が概ね加入し収める負担金であるが、地籍調査事業実施計画の策定は次年度より実施する予定。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		15	15	15	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
千葉県国土調査推進協議会負担金は、地籍調査を実施している市町村が概ね加入し収める負担金であるが、地籍調査事業実施計画は実施していない。

# 令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	01	03	01	地籍調査事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	12	地籍調査事業

整理番号
401030101

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	千葉県国土調査推進協議会負担金は、地籍調査を実施している市町村が概ね加入し収める負担金であり、事業計画は次年度より実施する予定。		千葉県国土調査推進協議会負担金は、千葉県国土調査推進協議会が定める負担金である。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	地籍調査は、土地トラブルの防止、災害復旧、公共工事の円滑化、課税の適正化などに役立つものである。	A:有効である	土地トラブルの紛争や土地取引の円滑化、土地資産の保全が図られる。	C:あまり効率的ではない	茂原市内は筆数が多いため、一筆ごとの調査には時間を要するため、効率は良くない。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	B:実現に向けて取り組んでいる	各機関の情報を共有し行う。	B:実現に向けて取り組んでいる	千葉県国土調査推進協議会負担金は、地籍調査を実施していく市町村が加入する団体。	B:実現に向けて取り組んでいる	関係機関や市民の協力得ながら事業を進める。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	C:事業の対象や手法の見直しが必要(達成度3割以下)	地籍調査を実施する上での人員の体制が出来ていない。				
	企画政策課での評価とその理由					
	C:事業の対象や手法の見直しが必要(達成度3割以下)	適正な地籍調査事業実施計画書の作成に向けて準備をするとともに、計画的に地籍調査を実施するための人員等の体制を検討するものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	地籍調査事業実施計画書の作成範囲は、市内全域(99.92km <sup>2</sup> )。		地籍調査事業実施計画書作成。	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
地籍調査事業実施計画書を作成するため、各機関より資料収集。 (1)茂原市固定資産税データ。(2)地形図。(3)地番図。(4)公共事業等実施区域図(土地区画整理)。(5)DID区域図。(6)都市再生基本調査成果簿。など		地籍調査実施に向け、適正な期間を定め、一筆調査を行うための地籍調査事業実施計画書を作成する。		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	02	01	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	04	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業

実施計画整理番号	
402010101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)  土地区画整理事業施行中の茂原駅前通り地区については、中心市街地としての商業・業務環境および住環境の整備を継続的に進めるとともに、集客力のある複合施設等商業核施設の事業化に向けて調査・研究を進めます。	活動内容(目的を達成するために何を行うか)  ・道路整備により、交通の利便性を向上させ、消防活動を容易とする。 ・地域の活性化および宅地の利用増進を図る。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
限られた予算の中で、都市計画道路「高師町下井戸線」の整備を進めると共に、都市計画道路「おりひめ線」沿いで建物の共同化の検討や建物移転を実施するなど、事業の推進を図る	①建物移転、道路築造工事の実施 ②建物の共同化を検討し、地権者の合意形成を図る ③まちづくり推進協議会の会議開催

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	114,505	143,578	54,997	189,200	322,933	126,605	420,893	615,275	611,681	137,574	0	0	
財源内訳	国補助	千円	20,140	20,140	24,145	87,875	123,765	43,695	194,327	283,781	278,288	40,450	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	71,800	71,800	20,000	77,600	124,400	55,500	174,700	250,600	250,200	36,400	0	0
	その他	千円	904	904	974	0	944	987	904	904	904	0	0	0
	一般財源	千円	21,661	50,734	9,878	23,725	73,824	26,423	50,962	79,990	82,289	60,724	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	建物移転等	391,893	584,456	581,185	前年度からの繰越3件の他、23件の建物等移転補償を実施した。引き続き推進する必要がある。
②	道路造成工事	19,700	20,067	20,067	4件の道路築造工事を実施した。引き続き推進する必要がある。
③	整地工事等	2,300	2,582	2,582	整地工事4件、公共汚水樹撤去工事2件を実施した。引き続き推進する必要がある。
④	共同利用化検討調査	7,000	6,633	6,578	共同利用化検討業務委託1件を実施した。引き続き検討する必要がある。
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		420,893	613,738	610,412	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ①建物移転等 H30繰越分:(建物)3件、R1分:(建物)10件、(駐車場)13件の建物等移転補償を実施
- ②道路造成工事 区画道路8-5築造工事 他3件を実施
- ③整地工事等 整地工事4件、公共汚水樹撤去工事2件を実施
- ④共同利用化検討調査 検討業務委託1件を実施

PLAN(計画)

DO(実施)

# 令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	402010101
4	02	01	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業	7	03	04	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物移転補償件数 23件</li> <li>・道路築造工事箇所数 4箇所</li> <li>・共同利用化検討調査業務委託の実施件数 1件</li> <li>・まちづくり推進協議会の会議開催回数 2回</li> </ul>					事業進捗率41.60%(2.64%上昇)					
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由					
	A:妥当である	中心市街地に相応しい秩序ある市街地整備を図るため、公共事業にて施行する必要がある		B:やや有効である	27年を経過した現在で事業進捗率が41.60%であり、更なる事業の長期化が危惧される		A:効率的である	国の補助制度を活用している			
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	B:実現に向けて取り組んでいる	「区画整理だより」の発行、ウェブページによる公表		A:実現している	まちづくり推進協議会の会議等への参加		B:実現に向けて取り組んでいる	勉強会にて共同利用化の検討及び核施設予定地の活用方法を検討			
	所管による評価とその理由、課題・問題点										
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	本所業は、施工面積10.7ha、総事業費160億円、施行期間は平成4年度から令和13年度となっている。平成5年3月の事業計画決定とともに着手し、平成7年度から早期完成を目指し建物移転や道路築造工事等の推進に努めてきた。進捗率は、27年を経過した現在、総事業費に対し41.62%であり事業の更なる長期化が懸念される状況となっている。また、地権者からは長期化している状況に対する不満等も多いことから、早期完成とともに中心市街地の活性化を目指した展開を図る必要がある。									
	企画政策課での評価とその理由										
	C:事業の対象や手法の見直しが必要(達成度3割以下)	本事業は商業・業務環境及び住環境の整備に成果を上げる事業ではあるが、事業の遅延・長期化が懸念される状況である。今後とも、早期完成に向けて事業の着実な進捗を図ることにより、地域の活性化及び宅地の利用増進に資するよう努めていただきたい。									
政策調整会議での評価とその理由											
庁議における方針											

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物移転補償件数</li> <li>・共同利用化検討調査業務委託の実施件数</li> <li>・まちづくり推進協議会の会議開催回数</li> </ul>					事業進捗率42.43%(令和元年度 41.60%)				
令和2年度における具体的な目標					令和2年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物移転補償4件の年度内完了</li> <li>・建物の共同化を地権者と共に検討し合意形成を図る</li> <li>・まちづくり推進協議会の会議開催</li> </ul>					都市計画道路「高師町下井戸線」「おりひめ線」の整備に係る建物移転補償を早期に契約し年度内の移転完了を図るとともに、建物の共同化について合意形成に向け地権者と参加事業者の意向を確認する。					

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	01	01	(仮称)茂原・長柄スマートIC設置事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	03	(仮称)茂原長柄スマートIC設置事業

実施計画整理番号	
403010101	
総合戦略整理番号	43201

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何をを行うか)
<p>圏央道を有効利用するために、(主)千葉・茂原線にスマートIC(ETC車専用)を設置し、市民及び道路利用者の利便性の向上、また、企業立地や生産活動の活性化を図る。</p>	<p>(仮称)茂原長柄スマートインターチェンジ実施計画書に基づき施行する。</p>
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
<p>・道路改良工事を早期に実施し、東日本高速道路路側や千葉県、長柄町と連携を図り、茂原長柄スマートインターチェンジの早期開通が出来るよう事業推進に努める。</p>	<p>・道路改良工事の実施 ・茂原長柄スマートインターチェンジの開通</p>

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	267,834	312,624	227,679	175,880	165,026	156,294	284,859	264,676	263,629	15,120	0	0	
財源内訳	国補助	千円	126,447	126,447	106,128	85,940	48,750	79,706	149,250	149,250	138,572	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	55,000	55,000	49,200	38,400	27,900	33,000	61,600	61,600	55,000	8,600	0	0
	その他	千円	67,300	67,300	59,144	42,720	28,547	37,493	65,057	65,057	60,809	2,000	0	0
	一般財源	千円	19,087	63,877	13,207	8,820	59,829	6,095	8,952	-11,231	9,248	4,520	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	スマートICの設置	284,859	264,676	263,629	概ね目標は達成され、今後は、利用者の増進に取組む必要がある。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		284,859	264,676	263,629	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・家屋事後調査業務委託 木造建物A 2棟
- ・イベント業務委託 開通式イベント業務
- ・事業用地維持管理委託 A=580㎡
- ・用地測量業務委託 境界杭設置201本
- ・地下水位観測業務委託 4箇所
- ・道路改良工事 9件
- ・道路舗装新設工事 2件

PLAN (計画)

DO (実施)

# 令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	403010101
4	03	01	01	(仮称)茂原・長柄スマートIC設置事業	7	01	03	03	(仮称)茂原長柄スマートIC設置事業	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況				令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	道路改良(整備)工事を11件実施した 令和2年2月16日に茂原長柄スマートICを開通した				工事執行率 66,252千円(支出済額)/66,363千円(予算現額)=99.83%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	市民及び道路利用者の利便性の向上を図るため、公共事業にて施行する必要がある。	A:有効である	スマートICを設置することで、利便性の向上及び、企業立地や生産活動の活性化が図れる。	B:やや効率的である	今後も国の補助制度を活用するとともに、コスト削減が図れるよう努める必要がある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	ホームページでの公表 地元説明会	A:実現している	地区協議会	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会等と協議をおこなっている。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	令和元年度中の開通を予定し、令和2年2月16日に茂原長柄スマートICを開通することが出来た。今後は、利用増進に努める。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	茂原長柄スマートICが開通したことで、利用者の利便性向上等に成果を挙げたものと認められる。今後は、更なる利便性向上を図るとともに、利用増進に努めていただきたい。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定				令和2年度成果指標(アウトカム)の設定			
	・茂原長柄スマートインターチェンジ地区協議会への支援(周知件数)				・利用者数			
令和2年度における具体的な目標				令和2年度における事務事業スケジュール				
・道路付帯工事を実施する。 ・地下水位観測、事業効果検証を実施する。				・道路付帯工事を上半期に発注する。 ・地下水位観測、事業効果検証を上半期に発注する。				



令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	01	03	都市計画道路整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	02	01	街路事業費

実施計画整理番号	
403010301	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
都市計画道路「桑原梅田線」他1路線の事業認可区域内の道路を完成させ、市街地の交通緩和を目的とした補助幹線道路網の整備をする。	事業認可区域内の街路事業用地を取得し、道路改良工事を実施する。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
建物調査委託・測量業務委託及び設計委託について早期発注に努める。用地取得に向け地権者と交渉を行う。	建物調査委託・測量業務委託及び設計委託を上半期に執行する。用地取得及び建物移転補償を上半期に実施する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	34,285	37,519	7,920	209,620	278,199	237,801	39,118	118,124	47,809	20,000	0	0	
財源内訳	国補助	千円	18,310	18,310	3,148	115,291	14,960	14,960	19,558	19,558	0	10,000	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	13,300	13,300	3,500	84,800	232,500	198,700	17,600	17,600	41,300	9,000	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,675	5,909	1,272	9,529	30,739	24,141	1,960	80,966	6,509	1,000	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	桑原梅田線の整備	39,118	63,796	46,544	測量、設計、地質調査、用地取得(3名5筆)及び物件補償(3名4件)を実施した。継続して用地交渉を実施する。
②	小林浜町線の整備	0	54,328	1,265	用地取得(1名1筆)及び物件補償(1名1件)を実施した。役務費、委託費、用地費及び補償費を繰越明許した。継続して用地交渉を実施する。
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		39,118	118,124	47,809	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
桑原八千代線・・・桑原地区において測量、設計、用地取得(3名5筆 181.70㎡)、物件移転補償(3名4件)を実施した。 継続地区において測量、設計、地質調査を実施した。 小林浜町線・・・用地取得(1名1筆 25.96㎡)、物件移転補償(1名1件)を実施した。	

PLAN(計画)

DO(実施)

# 令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	01	03	都市計画道路整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	02	01	街路事業費

整理番号
403010301

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況
用地取得面積 桑原八千代線 3名5筆 181.70㎡ 小林浜町線 1名1筆 25.96㎡	取得率 取得面積 桑原八千代線 9,338.69㎡ / 計画面積 15,336㎡ 60.90% 小林浜町線 2,139.71㎡ / " 3,452㎡ 62.00%

妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由
<b>A:妥当である</b> 都市計画道路として整備する事で、駅周辺の交通緩和が図れるため妥当である。認可区域には建築制限があるため、早期完成が望ましい。	<b>A:有効である</b> 完成後には駅周辺の交通緩和が見込まれる。	<b>B:やや効率的である</b> 用地購入にあつては不動産鑑定評価、損失補償については千葉県公共用地対策協議会の積算要領により算出しており、経費削減は望めない。

「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由
<b>B:実現に向けて取り組んでいる</b> 認可事業であることから告示行為を行っている。	<b>B:実現に向けて取り組んでいる</b> 縦覧期間に意見聴取の機会がある。	<b>その他</b> 権利者個々の交渉となるため、個人情報保護の観点から協働に適さない。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
<b>B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)</b>	計画路線において用地取得の進捗が図れた。交付金の追加要求があつたため、役務費、委託費、用地費及び補償費を繰越明許した。交付金対象事業であるが補助金の内示率が低く、限られた予算における事業の実施であり、用地交渉にも多大な時間を要する為、事業認可時の計画通りに実施できない状況である。

企画政策課での評価とその理由	
<b>B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)</b>	駅周辺などの市街地の交通緩和に一定の成果があつたと認められる。今後も計画的に用地取得を進めることで、事業の着実な進捗に努めていただきたい。

政策調整会議での評価とその理由	
	/

庁議における方針	
	/

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定
用地取得面積	用地取得率

令和2年度における具体的な目標	令和2年度における事務事業スケジュール
不動産鑑定評価・建物調査委託について早期発注に努める。用地取得に向け地権者と交渉を行う。	不動産鑑定評価・建物調査委託を上半期に執行する。用地取得及び建物移転補償を上半期に実施する。

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	03	01	バス運行対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	11	バス運行対策事業

実施計画整理番号	
403030101	
総合戦略 整理番号	43101

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)  運行維持が困難となったバス路線について、学生や高齢者などの交通弱者及び通勤利用者の交通手段を確保する。	活動内容(目的を達成するために何を行うか)  運行するバス事業者に補助金を交付し、路線バスの運行を維持する。
PLAN (計画)	
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
・住民の交通手段の確保・維持 ・利用者数の確保	・平成29年度にバス事業者と関係市町村で協議し定めた負担割合等に基づき補助金の交付を行う。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	4,988	4,988	4,803	4,988	3,803	3,803	3,803	3,803	3,803	3,803	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,988	4,988	4,803	4,988	3,803	3,803	3,803	3,803	3,803	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	路線バス運行維持支援	3,803	3,803	3,803	・補助金を交付し、路線バスの運行維持を図った。 ・今後も支援を行う。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		3,803	3,803	3,803	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・路線バスの運行を維持するため、3,803,000円の補助金を交付した。 (茂原白里線 1,880,000円、本納白子線 1,079,000円、茂原駅睦沢中央公民館線 844,000円)

DO (実施)

# 令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	03	01	バス運行対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	11	バス運行対策事業

整理番号
403030101

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金の交付額 3,803,000円</li> <li>補助金の交付対象路線数 3路線</li> </ul>		利用者数(路線全体) <ul style="list-style-type: none"> <li>茂原白里線 13,904人</li> <li>本納白子線 13,137人</li> <li>茂原駅陸沢中央公民館線 37,739人</li> </ul>		
	<b>妥当性の評価とその理由</b> A:妥当である 住民の交通手段の確保のため必要である。		<b>有効性の評価とその理由</b> A:有効である 補助金の交付により、廃止予定であった路線の維持が図れる。		<b>効率性の評価とその理由</b> B:やや効率的である 必要な施策であるが、特定の地域の施策となっている。
	<b>「情報の共有」の状況とその理由</b> A:実現している バス事業者と関係市町村とが協議し、お互いの負担割合等を定めている。		<b>「参加」の状況とその理由</b> A:実現している バス事業者と関係市町村とが協議し負担割合等を定めている。		<b>「協働」の状況とその理由</b> B:実現に向けて取り組んでいる 市町村が支援や広報等で協力し、バス事業者は、鋭意努力する。
	<b>所管による評価とその理由、課題・問題点</b> A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 当該事業については、計画通り執行され、目的とする路線の確保が図られた。				
	<b>企画政策課での評価とその理由</b> A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 当初の計画どおり執行され、住民の交通手段の確保・維持に成果があったものと認めることができる。引き続き、バス事業者及び関係市町村と連携及び協議し、市民の交通手段の確保に努めていただきたい。				
	<b>政策調整会議での評価とその理由</b> <div style="height: 50px; border: 1px solid black;"></div>				
	<b>庁議における方針</b> <div style="height: 50px; border: 1px solid black;"></div>				
	ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金の交付額</li> <li>補助金の交付対象路線数</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数</li> </ul>	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール			
<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の交通手段の確保・維持</li> <li>利用者数の確保</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度にバス事業者と関係市町村で協議し定めた負担割合等に基づき補助金の交付を行う。</li> </ul>			

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	03	02	地域公共交通運行事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	11	地域公共交通運行事業

実施計画整理番号	
403030201	
総合戦略整理番号	43101

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)  交通空白地域の解消及び高齢者等の交通弱者の生活交通手段を確保する。	活動内容(目的を達成するために何を行うか)  市民バス(定時定路線型)及び指定エリアにおけるデマンド交通(区域運行型乗合タクシー)による運行を実施する。また、茂原市地域公共交通会議を開催し、地域に即した輸送サービスの実現に向け関係事業者等と協議する。
令和元年度の具体的な目標  市民バスの利用者数の増 デマンド交通登録者数と利用者数の増 運賃収入以外の収入確保(有料広告)	令和元年度スケジュール  市民バス運行委託(長期継続契約)及びデマンド交通運行委託(随意契約)<4月>、デマンド交通運行委託(10月以降)の指名競争入札<5月>、地域公共交通会議の開催<6月、12月>

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	25,808	25,808	24,494	25,808	25,691	25,016	25,822	25,822	25,266	26,267	0	0	
財源内訳	国補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	9,790	9,790	9,269	9,790	9,078	9,637	9,640	9,640	10,180	9,640	0	0
	一般財源	千円	16,018	16,018	15,225	16,018	16,613	15,379	16,182	16,182	15,086	16,627	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	市民バスの運行	21,630	21,630	21,621	利用者数21,401人(前年比2.3%増)
②	デマンド型乗合タクシーの運行	3,947	3,947	3,514	利用者数1,780人(前年比2.5%減) 登録者数718人(前年比8.4%増)
③	地域公共交通会議の運営	245	245	131	2回開催(6月、12月)
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		25,822	25,822	25,266	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・市民バスの委託による運行(小湊鉄道株式会社)
- ・デマンド交通の委託による運行(都自動車株式会社)
- ・市民バス・デマンド交通共通回数乗車券の車内販売(販売価格1,000円(100円券・11枚)、2,000円(200円券・11枚))
- ・地域公共交通会議の開催(市民バスのダイヤ改正等)
- ・運賃収入以外の収入確保(有料広告・事業者2社)
- ・交通マップの更新(令和元年10月1日改正)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
4	03	03	02	地域公共交通運行事業	7	03	01	11	地域公共交通運行事業	403030201

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民バス: 東部コース5.5便/日、北部、南部(五郷)各4便/日、南部(鶴枝)4.5便/日※平日毎日 運行日239日(※台風により1日運休)</li> <li>・デマンド交通: 8便/日(月・水・金) 運行日141日</li> <li>・地域公共交通会議2回開催(6月、12月)</li> <li>・交通マップの配布・広報3回(6月、9月、10月)</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民バス「モバス」及びデマンド交通「ふれあい」を運行計画に基づき運行。市民バスは茂原駅での乗継利便性向上などのためダイヤ改正を実施。</li> <li>・市民バスの利用者数は21,401人(前年比2.3%増)、デマンド交通は利用者数1,780人(前年比1.5%減)、登録者数718人(前年比8.4%増)の結果となった。</li> <li>・有料広告による運賃収入以外の収入について確保(2社)を図った。</li> </ul>				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A: 妥当である	交通空白地域の解消及び交通弱者の交通手段の確保を目的とした事業であるため	A: 有効である	交通空白地域における高齢者等の交通弱者の交通手段として利用されているため		B: やや効率的である	運行計画の見直し時に効率化を図っている。利用者も増えてきている。			
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A: 実現している	都市計画課Webページに情報を掲載し、「わが街ガイド」でも情報を公開している。交通マップを市民バス車内や公共施設で配布している。	A: 実現している	交通事業者や市民等で組織された地域公共交通会議で連絡調整を行っている。		B: 実現に向けて取り組んでいる	市民、交通事業者、行政で協働の理念のもと、各々の役割を担うことで、持続可能な公共交通体系の構築を目指す。			
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	B: ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	市民バスについては、年間延21,401人、デマンド交通については、年間延1,780人の利用者があり、ある程度の成果をあげている。利用者数は、昨年度と比較し市民バスは増加となり、デマンド交通では、延利用者数は減少したものの1日当たりの平均利用者数では、12.6人/日と前年と変わらない実績となった。しかし、結果として、市民バス及びデマンド交通の1日当たり110人の目標値には達しなかった。								
	企画政策課での評価とその理由									
	B: ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	交通弱者の生活交通手段を確保に一定の成果が挙げられていると認められる。今後とも、関係機関それぞれの意見の調整を図りながら、利便性向上及び交通空白地域の解消に努めることとする。また、利用者増及び運賃収入以外の収入増につながる効果的な周知に努めていただきたい。								
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民バス、デマンド交通の運行本数</li> <li>・地域公共交通会議の開催数</li> <li>・利用促進の周知件数</li> <li>・有料広告主募集の周知件数</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民バスとデマンド交通の運行管理</li> <li>・市民バスの利用者数</li> <li>・デマンド交通登録者数と利用者数</li> <li>・市民バス有料広告掲載件数及び収入額</li> </ul>				
令和2年度における具体的な目標					令和2年度における事務事業スケジュール					
市民バスの利用者数の増 デマンド交通登録者数と利用者数の増 運賃収入以外の収入確保(有料広告)					市民バス運行委託(長期継続契約)及びデマンド交通運行委託(随意契約)<4月>、デマンド交通運行委託(10月以降)の指名競争入札<5月>、地域公共交通会議の開催<6月、12月>					

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	04	01	02	住宅用省エネルギー設備等促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	04	住宅用省エネルギー設備等促進事業

実施計画整理番号	
404010201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)  住宅用省エネルギー設備等の設置を奨励し、地球温暖化防止の意識を高めることにより、市内における二酸化炭素の排出量を削減する。	活動内容(目的を達成するために何を行うか)  市内の住宅に住宅用省エネルギー設備等を設置する市民に対し、千葉県の補助基準の範囲内で補助金を交付する。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
住宅用省エネルギー設備等の設置補助により、家庭におけるエネルギーの安定的な供給並びにエネルギー利用の効率化を図り、市内の二酸化炭素排出量の削減を図る。 太陽光発電システム30件、太陽熱利用システム2件、家庭用燃料電池システム15件、定置用リチウム蓄電システム25件	14～3月 住宅用省エネルギー設備等補助金受付

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	8,450	7,649	3,251	8,450	7,450	7,143	7,550	7,550	7,509	7,550	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	6,950	6,149	3,051	6,950	5,950	5,643	6,050	6,050	6,009	6,050	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	1,500	1,500	200	1,500	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	住宅用省エネルギー設備等設置促進	7,550	7,550	7,509	概ね達成できた。引き続き実施する。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		7,550	7,550	7,509	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入) 令和元年度住宅用省エネルギー設備等補助内訳 住宅用太陽光発電設備 18件 1,359,000円 太陽熱利用システム 0件 家庭用燃料電池システム 15件 2,250,000円 定置用リチウムイオン蓄電システム 39件 3,900,000円
---

# 令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	404010201
4	04	01	02	住宅用省エネルギー設備等促進事業	4	01	07	04	住宅用省エネルギー設備等促進事業	

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況
令和元年度住宅用省エネルギー設備等補助内訳 住宅用太陽光発電設備 18件 1,359,000円 太陽熱利用システム 0件 家庭用燃料電池システム 15件 2,250,000円 定置用リチウムイオン蓄電システム 39件 3,900,000円	排出が抑制された二酸化炭素の量 57,818kg

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
<b>A:妥当である</b>	市内の住宅に住宅用省エネルギー設備等を設置する市民に対し、千葉県補助基準の範囲内で補助金を交付した。	<b>A:有効である</b>	住宅用省エネルギー設備等の設置を奨励することにより、地球温暖化の意識を高め、市内における二酸化炭素の排出量の削減を促進した。	<b>A:効率的である</b>	令和元年度は千葉県の補助金額に準じ見直しを行った。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
<b>A:実現している</b>	ホームページ、広報により制度の概要について周知している。	<b>C:実現の余地がない</b>	市民等の参加事業ではない。	<b>C:実現の余地がない</b>	市民等の協働事業ではない。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
<b>A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</b>	住宅用省エネルギー設備等の設置補助により、市内における二酸化炭素の排出量削減を促進し、一定の成果を挙げている。引き続き事業の推進を図る必要がある。

企画政策課での評価とその理由	
<b>A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</b>	本事業は市内における二酸化炭素の排出量の削減に資する事業と認められるものである。引き続き、効果的な周知を図ることで市民の地球温暖化対策の意識向上に努めていただきたい。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定
住宅用省エネルギー設備等の補助件数	排出が抑制された二酸化炭素の量

令和2年度における具体的な目標	令和2年度における事務事業スケジュール
住宅用省エネルギー設備等の設置補助により、家庭におけるエネルギーの安定的な供給並びにエネルギー利用の効率化を図り、市内の二酸化炭素排出量の削減を図る。 太陽光発電システム30件、太陽熱利用システム3件、家庭用燃料電池システム15件、定置用リチウム蓄電システム29件	4～3月 住宅用省エネルギー設備等補助金受付

CHECK (評価)

ACT (改善)